

プレイステーション2ソフト「機動戦士ガンダム 連邦 vs.ジオンDX」

累計出荷本数65万本に

株式会社バンダイ

(株)バンダイが12月6日に発売したプレイステーション2ソフト「機動戦士ガンダム 連邦 vs.ジオンDX」(6800円/税別)が12/9時点で65万本を出荷しました。当初2001年12月末までに50万本出荷する計画でしたが、初回出荷で56万本と計画を上回り、更に発売直後の動向も約7割の販売と好調(消化)な滑り出しを見せ、累計出荷本数は65万本となりました。

プレイステーション2ソフト「機動戦士ガンダム 連邦 vs.ジオンDX」は、(株)バンダイ、(株)カプコン、(株)バンプレスト、KDDI(株)の4社による機動戦士ガンダム合同プロジェクト()で開発されたチームバトルアクションゲームソフトです。KDDI開発のマルチマッチングサービスに対応させることで、ガンダムゲーム初の4人同時ネットワーク対戦(2vs2)が可能になりました。業務用ゲーム同様のアーケードモードの他、プレイステーション2版だけのモードとして、数々の作戦を遂行して行くミッションモードも搭載しております。原作の機動戦士ガンダムに登場する全てのモビルスーツが登場し、ゲームが進むとビッグザム等のモビルアーマーも操作可能になります。

「機動戦士ガンダム 連邦 vs.ジオンDX」はバンダイの29作目のガンダム家庭用ゲームソフトで、バンダイのガンダム家庭用ゲームソフトの累計販売本数は770万本に達しています。

機動戦士ガンダム合同プロジェクト

バンダイ、カプコン、バンプレストの3社により今年3月にスタート。プロジェクト商品として業務用ゲームNAOMI版「機動戦士ガンダム 連邦 vs.ジオン」、業務用ゲームNAOMI版「機動戦士ガンダム 連邦 vs.ジオンDX」を世に送り出しています。合同プロジェクト第3弾商品となるプレイステーション2ソフト「機動戦士ガンダム 連邦 vs.ジオンDX」ではネットワーク技術を活用することで新しいガンダムワールドを誕生させるためKDDIが参加しています。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

(株)バンダイ 広報チーム：田上、馬淵 TEL：03-3847-5005 FAX：03-3847-5067